

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆
 有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 278通信
 R5年10月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

- ☆ナイス・ケア / 訪問介護※介護保険
- ☆ナイス・ホーム / 小多機能介護※介護保険
- ・定員24名 : 現在登録者18名
- ☆愛宕の家 / 住宅型有料老人ホーム
- ・定員17名 : 現在入居者12人
- ☆つしま紹介所 / 有料職業紹介
- ☆サポート・ワン / 暮らしサポート
- ※自費負担の在宅サービスです

《10月行事予定》

- 10日 外食DAY
- 18日 秋の大運動会
- 30日 感染訓練

※喫茶外出や外食 DAY
 など、社会参加活動の再開は場所や状況を踏まえて行っています。

《営業お知らせ》

- 喫茶てのひら
- 営業日：月・火・木・金・土・日 / 水曜定休
- 時間：9:00-12:30(モーニング営業のみ)
- 酸素BOX
- 営業日：月・火・木・金・土 / 水日定休
- 時間：9:00-17:00 完全予約制
- 鍼灸てのひら治療院
- 営業日：月・金・土(隔週) / 完全予約制
- てのひらコーラス ☆5月再開☆
- 隔週木曜日：14:30-16:00 参加者募集中
- ★再開検討中★
- 打太鼓(和太鼓)
- ・ナイス・キッズ(学童・託児)

～詳細はお問い合わせ下さい～

介護スタッフ、登録家政婦、看護師大募集♪

～お知らせ～

★外食 DAY & 喫茶外出について
 新型コロナウイルス感染症にて長い間、中止となっていました。9月より開催します♪少しでもご利用者さんの意欲向上になるよう、努めていきます。

★インボイス制度及び電子帳簿保存法に伴うお知らせ

介護保険の請求書にインボイス制度の登録番号が印字されるようになります。その他、弊社介護サービス以外のご利用については、電子レシートとなります。
 ※上記2点について、詳細は該当される方には別紙にてお知らせ致します。

事故発生予防・再発防止研修 / ナイス・ケア

先日、社内研修に参加しました。
 日常的に発生しやすい『転倒・誤嚥・誤薬・物品の破損紛失』の事故が発生した時にどのような対応をすればよいか、事故後の再発防止策として、どのような対策が必要か、事例を基に話し合いました。
 日頃から気を付けていても、思いもよらない事故は利用者さんのご自宅へ訪問している時にも起こることがあります。まずは冷静に対応に努める事、事故が起きた時に被害を最小限に食い止める事、利用者さんの安全確保と家族への説明。文字にすれば簡単ですが、実際にはとても判断力や想像力が問われます。
 物事を想像し、適切な判断力を養うためには、日々の記録や介護の『報(報告)連(連絡)相(相談)』を徹底する事、事故に繋がる前のヒヤリハットを共有し、繰り返し訓練をすることだと改めて感じました。(M・F)

100年の時代を生きた / 愛宕の家

先日、100歳の誕生日を迎え、内閣総理大臣から賞状と記念品を受け取られたBさん。そのBさんが、9月29日に永眠されました。
 100年前の日本は、「大正デモクラシー」「大正ロマン」などの言葉が生まれた時代だそうです。普通選挙法が成立、満25歳以上の男子だけに選挙権が与えられていました。女性に選挙権が認められたのはそれから20年後です。また、仕事をする職業婦人が登場し、洋装に断髪という姿が、西洋文化から影響されたようです。そして、このころの職業婦人の平均月給はタイピストが40円だったそうです。100年前の時代を思うと、Bさんが愛宕の家で色々なことを話してくれたことと繋がってきます。
 タイピストとしての職業婦人だったBさんは通勤電車でレース編みを作り、人にプレゼントしていたと話してくれました。よれた糸のレースをやかんの湯気で延ばして、丁寧に大切に使うことが分かる自宅の様子は今でも印象に残っています。
 本当に日本の生活の在り方は大きく変わったのだと思います。Bさんから、“物を大事にする”ということがどういうことなのか、投げかけられているようです。
 これからは100年先の時代を生きている人が増えるのかもしれませんが。私達もあと何年生きるのか、生かされるのか、分かりません。一人一人の人間がどのような最期を過ごせるのか分からない今の時代...Bさんには“最期まで人間らしくあったよ”と言ってもらえているのではないかと...これは、見送る側の気持ちです。100年生きてきた大先輩の生きる姿勢を大切に、引き継いでいけたらと思います。Bさんのご冥福をお祈りします。長い人生、お疲れさまでした。(M・T)



【介護サービスをご利用されている方専用の公式LINE】是非、ご登録を！
 ・利用者様(ご家族様)
 ・情報連携を必要とする事業所様

顔が見える関係 / ナイス・ホーム

ナイス・ホームでは2か月に1回、“運営推進会議”を開催しています。津島市や、地域包括支援センターの職員、関わって頂いている薬局、地域の民生委員の方に来て頂き、ナイス・ホームの利用状況等の報告から始まり、実態や抱えている問題の報告や意見交換の場としています。
 今年度は顔を合わせて会議を行えるようになり、地域の方にも参加していただけるようになりました。色々な視点からご意見をいただくことができます。その中で、「実際に利用してみえる方たちが分からない、いろいろなお話を聞いても想像が出来ない」というご意見を頂き、ハッとしました。
 コロナの前は、当たり前のように、ナイス・ホームの通いフロアで会議を開催しており、参加メンバーの方々が現場の雰囲気を感じ取ることができる会議だったことを思い出しました。
 顔と雰囲気が見える会議。そこで小規模多機能事業所という津島市の福祉事業がこれからどう存在していくのか、市の職員と地域の方と一緒に“穏やかに老いを生きる”社会を考えていく。少なからず、そこから地域の課題を発信し、共有し、方向性を見据えることができる...小規模多機能とは、地域の中でそんな役割さえもあるのではないかと...感じられた先日の会議でした。(Y・O)



何年かぶりに復活した外食DAY! 楽しみがあるってやっぱりいいですね。さあ、来月はどこ行く(^_^)



一歩踏み出せば / 愛宕の家

2か月ほど前に入居されたAさん。予測ができない、急な体調変化があるため、愛宕の家の中で生活することを望まれました。そろそろ慣れてみえた頃、出掛ける予定をすると、急な体調変化があり、不安が強くなり出掛けることをやめる...という繰り返しでした。
 しかし、屋内で過ごすことの安心とは反対に筋力の低下も感じられ、そろそろ外出はどうかと声をかけました。日に当たる事や屋外の空気を吸う事、屋外を歩く事、日中しっかりと活動する事で、夜もぐっすり眠れるかもしれないこと...それはご自身が一番よくわかってみえるのですが、“不安”が少しでも少なくなる方法を相談し、結果、付き添って外出することとなりました。
 当日、しっかりと日よけ対策、準備万端でスタッフの訪問時間を待っていただきました。そして、その一歩踏み出したことで、「喫茶店でお気に入り食べる事」「道路の脇に咲いている草花を見る事」「もう少し長く歩けるようになって、神社まで歩けるようになりたい」など、Aさんは段々前向きになりました。外出から「ただいまー」と帰ってみえ、愛宕のスタッフに楽しかった事を話してくれます。
 住み慣れた地域から離れ、愛宕の家に来られたAさん。この地域で、愛宕の家が“普通”に日々を共に送れる家でありたいと思います。(Y・Y)

子ども獅子が「わっしょい、チロリン♪」と元気な掛け声に、思わず笑顔♪



《編集後記》先日、情報公表の情報をインターネットに入力しました。情報公表調査を受ける時期になったんだと実感。また、同時期に、ナイス・ホームは第三者評価の時期でもあります。日々の業務と書類、人と地域とどう関わるべきかを振り返る事が出来る機会♪ (Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
 10月 送部数 94 部